

平成 29 年度第 2 回募集 公益財団法人浜松市文化振興財団

はままつ文化サポート対象事業

実施団体名	はままつ・つながり・アート		
事業名	清涼金剛 ～月に寄せて～ 遠州ゆかりのアーティスト展		
実施年月日	平成 30 年 9 月 25 日（火）～30 日（日）		
実施場所	浜松市秋野不矩美術館 2 階 市民ギャラリー	実施回数	6 日間 1 回
入場料	無 料		
事業内容	市民ギャラリーの空間は長方形です。これを三等分し、さらに入り口側の二つは右側と左側にスペースを分配します。合計 5 つのスペース。これをアーティストの展示スペースとして考えます。奥の部分はワークショップ及びパフォーマンススペースです。いままでにない市民ギャラリーの使い方を提案しようと考えています。 入り口側の入ってすぐのコーナーは遠州錦織り物で独自の世界観をくりひろげる Miichi さんにトルソーへのトータルコーディネートをパフォーマンスしていただき、彼女の作品を思うままに展示していただきます。反対側のコーナーには立体彫刻家の夏目ともこさんにパフォーマンスと展示をしていただきます。 真ん中のスペースは介護や人にやさしい服作りをめざしている okimaki さんに展示していただき、年齢と生活状況にあった優しさとは何か、を見に来た方々と相互発信していただけたらと思っています。真ん中のもう一方のスペースは陶芸作家であり、わたしの恩師である楡工房さんに展示していただきます。さまざまな生き方のお手本のような方でもあり、先生自身が生きたパフォーマンスになるのではないかと考えています。 奥のスペースは時間と日にちで変化をつけ、いつ来ても新しい何かを持ち帰られるような空間にしていきます。一つは自分のダンスパフォーマンスです。激しい振動や、大きな音は禁止ですのでその中でどんな表現をしてみなさんに届けられるのかをこれから楽しみです。 二つ目ははままつシャツさんの直線縫いのスカート作り。だれでも簡単にできるそうで遠州織物の良さを伝え、歓談する良い場となりそうな予感がします。 三つ目は絵画とパフォーマンス。鉛筆画なので汚れません。これも楽しみです。 個性豊かなアーティストぞろいで收拾がなくなると困りますのでコンセプトは月としました。清涼金剛は月の別名。月光菩薩のことです。涼やかに気持ちの良い企画展にしたい、その思いを込めました。ただの作品展とは違う、今までにない市民ギャラリーの世界をみなさんに楽しんでもらい、アートの持つ力に気づいてくだされば会は成功だと考えております。		
波及効果	素敵なお好きな建物である秋野不矩美術館を知ってもらいます。意外とみな知らないのです。そして愛すべき、ちょっとなつかしいまち、二俣の良さもやはりみなさんに知っていただきたい。そして二俣の方には個性豊かな生き方をしている人たちに会って欲しい。きっとまた新しい出会いが生まれて、新しいアートが創造される。そう信じています。		
事業費総額	135000 円		
助成金額	100000 円		